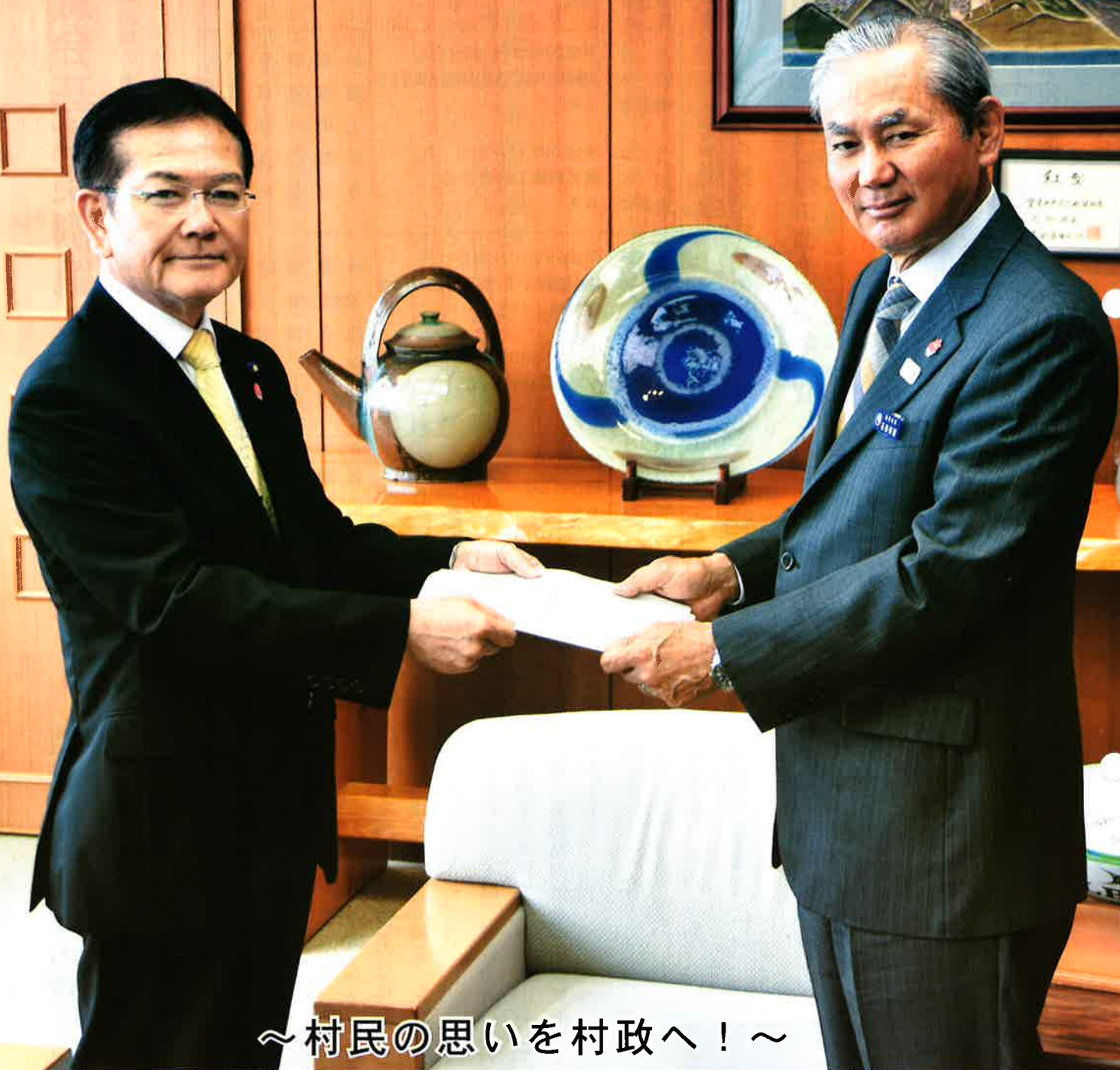


特別号 議会だより



～第10回 村民との意見交換及び議会報告会～

日本一人口の多い村



～村民の思いを村政へ！～

政策提起項目

- 1、村が健康づくりを推進するために地域に密着した健康相談、保健指導及び健康診査、地域保健に関する必要な事業を総合的に行う拠点施設である「保健センター」の実現を求める。
- 2、村の第一次産業を担っている農業従事者の廃プラスチック処理に対する支援を求める。

読谷村議会基本条例第4条7項

議会は、全議員の出席のもとに村民に対する議会報告会を少なくとも年1回開催して議会の説明責任を果たすとともに、村民の意見を拝聴して議会活動の活性化を図るものとする。

第10回村民との意見交換および議会報告会を行った。

各会場活発な質疑・意見

本村議会は、村民に身近な議会として、議会の基本理念、議員の責務及び活動原則等を定めた議会基本条例に基づき、年1回の議会報告会を開催し、村民の意見を拝聴し議会活動の活性化を図っております。

第10回「村民との意見交換会」を10月23日～31日の間、計8団体で開催したところ、多くの行政に対する要望・意見等があり、本議会全員協議会で検討の結果、左記の次のとおり政策提起することになりました。

貴殿におかれましては、財政の厳しいおり村民の行政に対するニーズや解決すべき問題・課題が山積していることとご推察申し上げますが、早急な対策及び解決に向けて取り組みがなされるよう提起いたします。

月 日：平成29年10月23日（月） 団 体：読谷村食生活改善推進協議会 参加者：10名	伊 佐 眞 武 翔 徳 雄 上 地 利 枝 山 城 正 輝 長 濱 宗 則	A 班
月 日：平成29年10月24日（火） 団 体：沖縄県花卉園芸農業協同組合読谷支部 参加者：7名	新 垣 修 幸 國 吉 雅 和 上 地 榮 榮 新 城 昭 彦 神 谷 嘉 栄	B 班
月 日：平成29年10月23日（月） 団 体：読谷村障がい児(者)を守る父母の会 参加者：17名	仲 眞 朝 雄 津 波 古 菊 江 知 花 徳 栄 伊 波 篤 篤 仲 宗 根 盛 良	C 班
月 日：平成29年10月23日（月） 団 体：読谷村スポーツ推進委員協議会 参加者：9名	城 間 勇 山 内 政 徳 當 間 良 史 比 嘉 幸 雄	D 班
月 日：平成29年10月30日（月） 団 体：読谷村母子保健推進員協議会 参加者：10名		
月 日：平成29年10月24日（火） 団 体：中部地区和牛改良組合読谷支部 参加者：8名		
月 日：平成29年10月31日（火） 団 体：読谷村子ども会育成連絡協議会 参加者：3名		

◎読谷村食生活改善推進協議会

1 地産地消を図ることから野菜作りの活動がしたく、読谷村リフレッシュ農園を当協議会として借用したい。

(回答) リフレッシュ農園は村民の個人を対象に貸し出しているもので、団体への貸し出しは厳し

2 読谷村議会議員の皆さんに料理教室に参加し料理を試食して欲しい。
 (回答) 全員協議会で検討する。

3 十八番市と農村女性の家の状況はどうなっているか。
 (回答) 十八番市跡はキクラゲ栽培の実証実験をおこなっている。農村女性の家は野菜カット工場等の施設として改修予定である。



リフレッシュ農園の光景

4 喜名郵便局周辺の県道12号線の道路工事が進まないのはどうしてか、高齢者や子どもたちの交通安全に影響を及ぼす。
(回答) 未収用地が一部あり、平成29年度の予算の確保ができず、来年度に先送りになっている。役所からも地域の要望を伝えている。

5 高志保430番地周辺に外灯を設置して欲しい。
(回答) 近年、新築住宅が増えている、順次設置している。

◎読谷村母子保健推進員協議会

1 ボランティアの精神で頑張っているが母子保健推進員協議会の認知度が低く、訪問の時も快く迎えてくれない時がある。

(回答) 現在、広報よみたんでの顔写真紹介を2年に1回記載（任期が2年1期のため）。他、健診会場のパネル展を実施、訪問対象になる親子手帳交付時に、顔写真が入ったチラシを配布している。

2 未受診の所に訪問しているが母親がパートで働いているため会えないケースが多い。

(回答) 3回訪問して会えないケースは、健康推進課へ報告してもらい、地区担当の保健師や看護師で対応している。

3 母子訪問の際、インフルエンザの予防接種をしているが、公費から助成してもらいたい、65歳以上と同じで自己負担を1,000円にできないか。

(回答) 母子保健推進員に限らず、他のボランティアとの兼合いや年齢層など調査が必要。

4 検診会場を一カ所にできないか。できれば保健センターの建設を希望。

(回答) 検診会場については母子事業に限らず、成人保険事業の実施にも関係している。保健センターの設置については関係課との議論が必要である。

5 各自治会長と母子保健推進員との協力、理解が求められている。

(回答) 回答1を継続的に実施することで理解が得られると考える。

6 自主活動をした場合、材料代等の予算が必要。

(回答) 自主活動に掛ける費用がどのくらいになるか検討したい。



文化センターでの特定健診



なかなか進まない県道12号線の工事状況

◎ 沖縄県花卉園芸農業協同組合（太陽の花） 読谷支部

1 若い世代が新たに安心して営農に取り組むには農地の確保が重要である。そこで読谷村として、遊休地及び農地の有効利用を図るため、農地の流動化を促進してもらいたい。

(回答) 平成26年度より中間管理機構の事業として現在まで30件の貸付け件数(28,279㎡)の実績があり、今年の10月からの制度改正により一層の遊休地問題の解消に向けて期待される。

2 台風時の塩害対策に農業用水を使用できないか。また、水資源を有効活用するためにも、農業用水の使用量に応じたメーター制を採用するようお願いしたい。

(回答) 長浜ダムからの給水事業は早魃に伴う給水は想定しているものの台風時の給水は想定していない。中部地域においては、メーター制については料金が高くなる。読谷村の面積割の方が安い単価である。

3 花卉農業が現在使っている農薬は2日〜3日には残留物がなくなる状況にあり、正しく周知する必要がある。その事に関して行政の方からも周知の協力をお願いをしたい。

(回答) 本村は減農薬を宣伝しており、周知のための広報等は厳しい。

4 現在、今帰仁村やうるま市でも問題になっているが、廃プラの処理で困っており、行政の支援をお願いしたい。

(回答) 近い内に関係団体と協議して対応していく。ちなみに事業費については、行政3分の1、出荷団体(組合)3分の1、利用者(農家)3分の1である。

◎ 読谷村商工会青年部

1 読谷中学校の跡地利用状況は

(回答) 運動場と校舎側の道路を整備して拡張する予定である。アンケートではスーパーや病院の話もあったが校舎側の計画は近々計画が出る。

2 読谷飛行場の返還跡地について有効的な活用が出来ないか。

(回答) 払い下げの前提条件としては農地としてしか払い下げは出来ない。3割は公共用地、7割を旧地主への払い下げの予定である。現在は5生産法人に無料で貸しているが、平成30年度から賃貸借の予定である。



整備がはじまる読谷中学校跡地(校舎側)



農業用使用済みプラスチックは
適正に処理しましょう!!

農業用地から出る廃棄プラスチック

◎読谷村障がい児（者）を守る父母の会

1 村の職員募集に知的障がい者も受験できないか。
 (回答) 身体障がい者の雇用については法定されているが、知的障がい者については定められていない。

2 移動支援の制度を充実できないか。
 (回答) 読谷村移動支援事業の実施要項に基づいて実施している。要望等については、団体の意見を聞きたい。

7 外国人の就業の受け入れの話はあるか。また、外国人の観光客へのサービスは。
 (回答) 外国人の就業の受け入れについては法制上の課題もあり検討してない。外国人の観光客へのサービスについては多言語（英語、韓国語、中国語）の観光パンフレットを印刷してある。

6 人手不足の対策はどうなっているか。
 (回答) 村として雇用問題は課題としてある。

5 航空写真の証明手数料が本村はカラーで800円、うるま市ではA3でも200円となっており、4倍も高いのは何故か。
 (回答) 当該手数料は周辺市町村の多くが800円となっており、本村だけ高いわけではない。

4 スポーツキャンプを誘致したいがいつも利用者でいっぱい誘致が出来ない。また、村民の利用も厳しいものがあるので、スポーツ施設の建設予定はあるか。
 (回答) 村に3団体からソフトボール専用施設の要請があったが、新たな体育施設の考えはない。

3 村内で鍼灸院を営んでいる健康保険の医療類似行為確認の電話が患者にかかってくるが、3〜4ヶ月後であるため負担が大きい。村の補助制度はどうなっているか。
 (回答) 現状は、施術から国保連合会で審査、読谷村で審査、被保険者への調査書等送付、疑義等のある申請書は施術所確認の上、返戻の流れとなっている。補助は原則として1年間に800円の12回分であるが、必要に応じて更に12回分を追加する時もある。



読谷村障がい児(者)を守る父母の会の皆様と



商工会青年部と未来を語った

3 読谷村障がい児(者)を守る父母の会の事務所を年内に明け渡さないといけませんが、何か方策はないか。
 (回答) 今後協議していく。

◎ 中部地区和牛改良組合読谷支部

1 一括交付金を活用して実施している優良母牛導入事業を平成30年度以降も継続できないか。
 (回答) 平成27年度から平成29年度までの3年間、各年度目標導入頭数を33頭3年間で99頭を成果目標として事業を実施し、目標を達成した。本事業の和牛農家への経済的波及効果の高さを考え、事業継続に向けた新たな成果目標の設定等や新規事業の可能性について、今後事業主体であるJA・県・国と調整し検討していきたい。

2 牛糞等を集積する施設の整備ができないか。
 (回答) 堆肥の地産地消を確保し、減農薬農業につなげていくために、県内をはじめ全国各地で堆肥センターが設置されている。

施設のコスト、悪臭、販路の確保等の課題が解決できれば十分可能性があり、今後も堆肥センターの整備に向け検討を続けていきたい。

3 牧草地の確保ができないか。(読谷中部地区等)

(回答) 耕作放棄地を牧草地として畜産農家へ紹介しているが組合が求める大規模な耕作放棄地は無いというのが現状である。読谷中部地区においては法人と契約を交わし活用する可能性はあるが旧地主関係者の理解と契約手続きが必要になってくる。

4 畜舎への上水道の接続をしてほしい。

(回答) 建築基準法等の関係法令を遵守された畜舎であることが原則であり、上水道接続については、全て自己負担で適切な施行を行える業者であれば可能である。

◎ 読谷村スポーツ推進委員協議会

1 委員は全国表彰の旅費や、研修費を自費で負担し参加している現状がある。予算措置を検討出来ないか。

(回答) 永年活動に感謝している。村、財政方針の県外旅費については、村長・教育長・議会その他の検査や確認等の義務分についてはのみ計上することになっており、要求をしたが査定で認められなかった。また研修費につきましては、各研修会には負担金を計上しております。



スポーツ推進協議会



議会で視察した伊江村の堆肥センター

◎読谷村子ども会育成連絡協議会

- 2 健康まつりの体力測定に読谷村は近隣他町村と比べても多くの参加がある。何らかの評価が欲しい。
- (回答) 健康まつりにおける体力測定を担当者に感謝している。(年々自分の健康や体力に関心が高まっており、参加者が多いものと考えてる。)
- 3 10年前に比べ、各イベントに参加する子供たちが少なく、対象者の住み分けが、むつかしくなった。何かいい知恵はないか。
- (回答) 告知・広報の仕方を検討していきたい。直接電話での参加依頼も必要かと考える。各課連携できる事業については検討を要する。
- 4 イベントによつては土日開催があり、委員に新たに応募する人も少なく後継者がいない。
- (回答) 任期が切れる前には、継続か満了による退任かを決めて、公募する必要がある。今回平成29年1月号の広報よみたんにスポーツ推進委員募集を掲載し公募を行い、1人を採用しました。今後とも、早めに公募ができる体制と、各自治会長にも推薦してもらおうなどを検討し、スムーズな後継者育成を行いたい。
- 1 各支部の役員のなり手がなく、役員の引継ぎが出来ない。
- (回答) 社会教育団体に共通した悩みであり、原因は社会環境そのものが以前と比較して時代が大きく様変わりしていることにあると考えられる。役員のなり手がいない自治会役員の担い手が脈々と途絶えない自治会、その違いがどこにあるか、情報を集約して各子ども会へ流すことや、読子連が自主的に会活動を行うなど創意工夫の余地を感じます。
- 2 岐阜県白川村との交流事業が一番大きい行事である。派遣する子供たちの自己負担の派遣費が大きい字では助成金があるが、小さい字ではむつかしいなど字の大・小で違いがある。
- (回答) 自治会間で財政力に差があるので、行政がその差を埋める手立てはありません。交流事業の旅費について参加児童全員の旅費(航空券代)全額を公費で負担しています。



交流のある岐阜県白川村



体力測定の光景

選挙はクリーンに

～2018年統一地方選に向けた取り組み～

3月定例会期中議会において9月に行われる統一地方選について読谷村選挙管理委員長と担当職員による説明会を行った。

読谷村議会では、クリーン選挙に取り組む北谷町や北中城村に習い違法な**ポスター**・**のぼり**・**横断幕**を自粛する運動を行って参ります。



選挙運動のためのポスターやのぼり等を道路や電柱に貼り付けるのは**違法**です。

読谷村議会議員互助会 ボランティアクリーン作業を実施



日時：平成29年11月10日(金)

場所：残波岬公園

人数：10名



長田川への思いを語る松田武雄会長



長田川清流会の皆さんと

日時：平成30年2月10日(土)

場所：長田川周辺

人数：13名